

1 会議名	令和6年度第4回津市農業振興対策協議会
2 開催日時	令和7年3月26日(水) 午前10時から午前10時30分まで
3 開催場所	津リージョンプラザ 2階第3会議室
4 出席した者の氏名	(津市農業振興対策協議会委員) 小野寺一成、中島努、岸岡隆司、守山孝之、乗竹克哉、 横谷明美、中尾好孝、清水英治、小粥文夫、清水喜代己、 田口慶則、飛岡隆、大田雅久、結城晋三、森本亨、 喜多義幸 (事務局) 農林水産部部長 濱口耕一 農林水産部次長 稲垣正司 農林水産部農林水産政策課課長 葛井克昌 農林水産部農林水産政策課担当主幹 中西智徳
5 内 容	議 事 (1) 津市農業振興地域整備計画の変更の決定について (2) 津市農業振興地域整備計画の答申について (3) その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	0人
8 担当	農林水産部農林水産政策課農業振興担当 電話番号 059-229-3172 E-mail 229-3171@city.tsu.lg.jp

○ 本日の協議会は、総委員数17名中、出席者16名で「津市農業振興対策協議会条例」第6条第2項の基準である半数以上の出席を得ており、本協議会は成立。

○ あいさつ、資料説明については省略。

【主な意見等】

委 員

津市農業振興地域整備計画3ページにある農業振興地域における土地利用の移動構想で農用地の実数・比率は令和2年時は7,953.3haとなっている。また、今説明いただいた令和7年度の目標7,652.3haと31ページにある7,542.3haの数値の違いはどうなっているのか。

事務局

令和2年からみて10年後193ha減少すると見込んでおり、令和12年の目標は7,760.3haとなっている。先ほどの7,652.3haは国から出ている目標。

今回の見直しでは、平成30年から令和2年までの3年間で58ha減、新しく作るものは7,542.3haになる。

委 員

7年度は7, 542.3haの目標ということか。

事務局

国の方は7, 652.3haと言っているが、7年度に目標を見直すと聞いている。

委 員

7, 652.3haというのは7, 542.3haに対しての話しか。

事務局

そうです。令和7年度から10年後に向けての数値を国が設定してくる。7, 542.3haより下がってくると思われる。

会 長

続きまして事項書2の津市農業振興地域整備計画の答申についてです。

事務局

会長から市長へ答申をさせていただきます。会長より事務局へ答申書を手交。

その他については、前回、大田委員から5ha未満の圃場整備について質問があった件ですが、市の農業基盤整備課から東海農政局に確認しましたところ、国の方では5ha未満の圃場整備事業を行うとのことですが、実際、どの予算でどういう要件で行うのか決まっていない。わかり次第、国の方から県・市に降りて来た時点で、総合支所を通じて周知をさせていただくことになります。令和8年度からの事業になると思います。

会 長

新聞が先に取り上げて国の制度が追い付いていない。やるとの方針だけは出た。

5haとなれば、随分変わる。

委 員

このまま放置すれば、必ず農地は減っていく。それを土地改良すれば少しでも減少に歯止めがかかる。土地改良をしなければ田へ入る道がなく、機械も入らないので、担い手は受けない。前にもお話ししましたが、ここは原野状態になっており、獣の住み家になっている。

会 長

来年度くらいにはできる可能性はあるのか。

事務局

来年度中には固まる。市の予算が見てないので、取り掛かりとしては8年度からの事業となる。

除外申請は、現在、県で見いただいている状況。県から戻り次第、市で公告し、申請者の方に縦覧期間の通知を出し、異議申し立てがなければ三重県知事に提出し、市の方で公告する。決了まで1月程度かかる見込み。

会 長

閉会宣言し、閉会。